

ボランティアセンターだより

第55号

令和7年1月1日発行

すこやか

芦別市社会福祉協議会

ボランティアセンター

命を守る大切さを語りつなく

防災講座 開催!



2022.4.25
Hiroshi Miyaura

みうら ひろし

命を守る語りべ 三浦浩氏



当日は紙芝居もやります。



高校生の時に北海道南西沖地震を体験。地震直後には玄関が開かなくなり、居間の窓から裸足で脱出する。

祖父を背負い、祖母の手を引いて、沖から地鳴りのように迫る津波の水を被りながらも近くの高台に走って避難し、助かった被災体験のほか、災害から命を守る方法や災害時の備えについて学びます。

次頁に講座の詳細を掲載しておりますのでご覧ください。

多くの方のご参加お待ちしております。

発行/芦別市社会福祉協議会ボランティアセンター

〒075-0011 芦別市北1条東1丁目8番地 芦別市総合福祉センター内

TEL 0124(22)2194 FAX 0124(22)5466 E-mail ashi-sya@indigo.plala.or.jp



「すこやか」は、赤い羽根共同募金の助成金を受けて発行しています。

命を守る大切さを語りつなぐ



《プロフィール》

みうら ひろし

命を守る大切さをつなぐ 代表 三浦 浩氏

【略歴】 北海道奥尻高等学校卒業、北海道消防学校卒業

【職歴】 消防士、介護福祉士など

【公職】 北海道防災教育アドバイザー、栗山サポーター

【著書】 「あの坂へいそげ」、「いのちのやくそく」など

日時 令和7年3月7日（金）
午後1時30分～午後3時30分

場所 芦別市総合福祉センター本館2階 大ホール
(芦別市北1条東1丁目8番地)



講師 命を守る大切さをつなぐ
代表 三浦 浩氏(北海道防災教育アドバイザー)

〆切 令和7年2月21日（金）

定員 50名 **参加費** 無料



《主催・お申し込み》

社会福祉法人芦別市社会福祉協議会（担当：木曾、小杉山）

芦別市北1条東1丁目8番地 芦別市総合福祉センター内

電話 22-2194 ファックス 22-5466

「命を守る大切さを語りつなぐ」参加申込書

| | | | |
|-----|--|------|--|
| お名前 | | 電話番号 | |
| ご住所 | | | |

※この参加申込書でいただいた個人情報は、本講座の運営にのみ使用いたします。

北日本自動車大学校 クリーン作戦

(令和6年4月26日)



北日本自動車大学校の生徒による
クリーン作戦が行われました。

環境美化活動として毎年行われて
いるボランティア活動で、日頃から
利用している学校周辺の敷地や道路
わきに落ちているゴミや空き缶など
を拾いました。



上芦別小学校4年生 総合的な学習の時間

(令和6年9月11日、24日、27日)



手話体験

(令和6年9月11日)



視覚障がいについて

(令和6年9月24日)



妊婦体験

(令和6年9月27日)

上芦別小学校4年生の総合的な学
習の時間において、福祉体験学習が
行われました。

ボランティア団体や市職員、社協
職員が講師となり、手話体験や妊婦
体験、視覚障がいについて学び、児
童の皆さんはお互いに協力しながら
積極的に取り組んでいました。

ボランティア愛ランド北海道 in えべつ (令和6年9月28日)



市内のボランティア4名が江別市において開催された、ボランティア愛ランドに参加しました。

約5年ぶりの開催となり、記念講演や分科会では他市町村のボランティアの取り組みについて学びました。

声のボランティアかりんとう「朗読の集い」 (令和6年10月27日)



声のボランティアかりんとうによる「朗読の集い」が開催されました。

今年度は新たな試みとして紙芝居や絵本の朗読を取り入れ、参加者の皆さんは真剣に耳を傾けている様子が見られました。

編集後記

皆さんは災害対策をしていますか？

昨年元日に発生した石川県能登地方を震源とする大きな地震から1年が経過しました。

いつどこで起きてもおかしくない自然災害から身を守るための必要な備えについて考える必要があります。

「備えあれば憂いなし」という言葉がありますが、まさにその通りだと思います。

そこで今回は「命を守る大切さを語りつなぐ」と題して防災講座を開催します。

日本は地震大国と言われているなかで、災害時に命を守るための行動や備えについて皆さんと一緒に考え、学びませんか？

たくさんのご参加お待ちしております！



K O S